

希望

チューリツヒ日本人学校便り

平成 27 年 12 月 7 日発行
第 31 号
発行人 校長 鈴木史良

人権について考えを深める

——「思いやりの木」の実践と人権集会 ——

12月4日の5校時に、全校児童生徒による人権集会を開催しました。日本人学校では先週を人権週間とし、人権意識を高める活動に取り組んでいます。子どもたちの委員会では、職員室出入口前の廊下に「思いやりの木」を掲示し、友達のよい言葉や行いなど、実際に自分が見たり聞いたりしたことをメモして、この「思いやりの木」に貼りつけています。普段からも仲良しの友達どうしなのですが、これを機会にあらためて文章にして伝え合うというのもすばらしいことだと思います。「思いやりの木」に貼られるメッセージが毎日、毎日増えています。では、どんなことが書かれているのでし



「思いやりの木」に貼られたメッセージ

ようか。ちょっとのぞいてみました。

☆ 今日、Sさんが「ごみ箱の中身捨ててくるね。」と言って、積極的に掃除していたのがよいと思いました。

☆ 今日、Kさんが「歌詞カード、配った？」とみんなに確認していたところが、責任感があっていいなと思いました。

☆ げきのれんしゅうをしていたときに、Kさんが、「ここはこうしたらいいんじゃない？」とアドバイスしてくれました。

ここに紹介したのは、ほんの一例ですが、その他にもすばらしい言葉がたくさん書かれています。ご来校の際には、「思いやりの木」をぜひご覧ください。

さて、人権集会では、人権の大切さを考え、自分なりに受けとめた子どもたち一人ひとりから目標となる標語が発表されました。

<人権集会「標語」>

- | | | |
|---------------------------------------|----|-------|
| ・おともだち みんなニコニコ ひろがるよ | 小1 | K・Fさん |
| ・きみからね いってみようよ ごめんなさい | 小2 | S・Nさん |
| ・ありがとう すてきな言葉 うれしいな | 小3 | M・Mさん |
| ・よい言葉 言葉だけなら 意味がない | 小4 | K・Kさん |
| ・目指そうよ 協力し合って ちょうてんへ | 小4 | K・Hさん |
| ・きずつけない 相手のことを 考えて | 小5 | K・Tさん |
| ・人の意見 聞けば自分が 変わるはず | 小5 | S・Kさん |
| ・全力が 引き出す 私の すばらしさ | 小5 | K・Fさん |
| ・言ったこと 言われてムツとしたならば
相手も同じく ムツとしたはず | 小6 | M・Oさん |
| ・その権利 うばう権利は ありますか？ | 小6 | M・Nさん |

- ・努力はね いつかきつと むくわれる
- ・人生の 自由、責任 守れるかい？
- ・マジメに考えて行動 じゃ・な・く・て
本気で考えながら行動 だろ
- ・やりたいことができる幸せ 普通になってない？

中1 I・Hさん

中2 R・Tさん

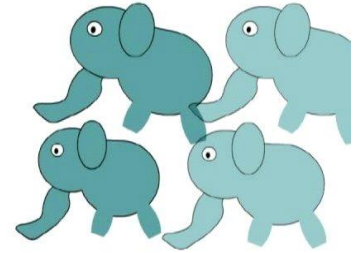
中2 K・Eさん

中3 S・Sさん

それぞれ発達段階による違いはありますが、どれも人権意識が高い標語になっていると思います。なかには、大人がどきっとするような作品もあるのに驚きました。

「ぞうさんのうた」に込められた思い

人権集会の最後に校長の話として、童謡「ぞうさん」の話をしました。この歌は1953年にNHKラジオ「うたのおねえさん」という番組で歌われたのが最初です。作詞者のまどみちおさんは、若い頃、当時日本が支配していた台湾で技師として働き、そこで体験したことがこの歌のもととなりました。この歌は、“違いを超え、それぞれが生かされることこそすばらしい”というメッセージを日本の子どもたちに伝え続けているのです。



<講話会会場変更のお知らせ>

12月11日(金)に予定されている講話会(松本氏)の会場を体育館から**図書室に変更**いたします。